

第 2 回
浦安市市街地液状化対策検討委員会

議 事 次 第

日時：平成 27 年 3 月 27 日(金)13：30～15：30
場所：浦安ブライトンホテル東京ベイ
1 階フィースト

1. 開 会
2. 挨 拶
3. 議 事
 - (1) 第 1 回委員会の指摘事項の対応について
 - (2) 格子状地盤改良中間報告（設計）について
 - (3) 格子状地盤改良中間報告（施工）について
4. そ の 他
5. 閉 会

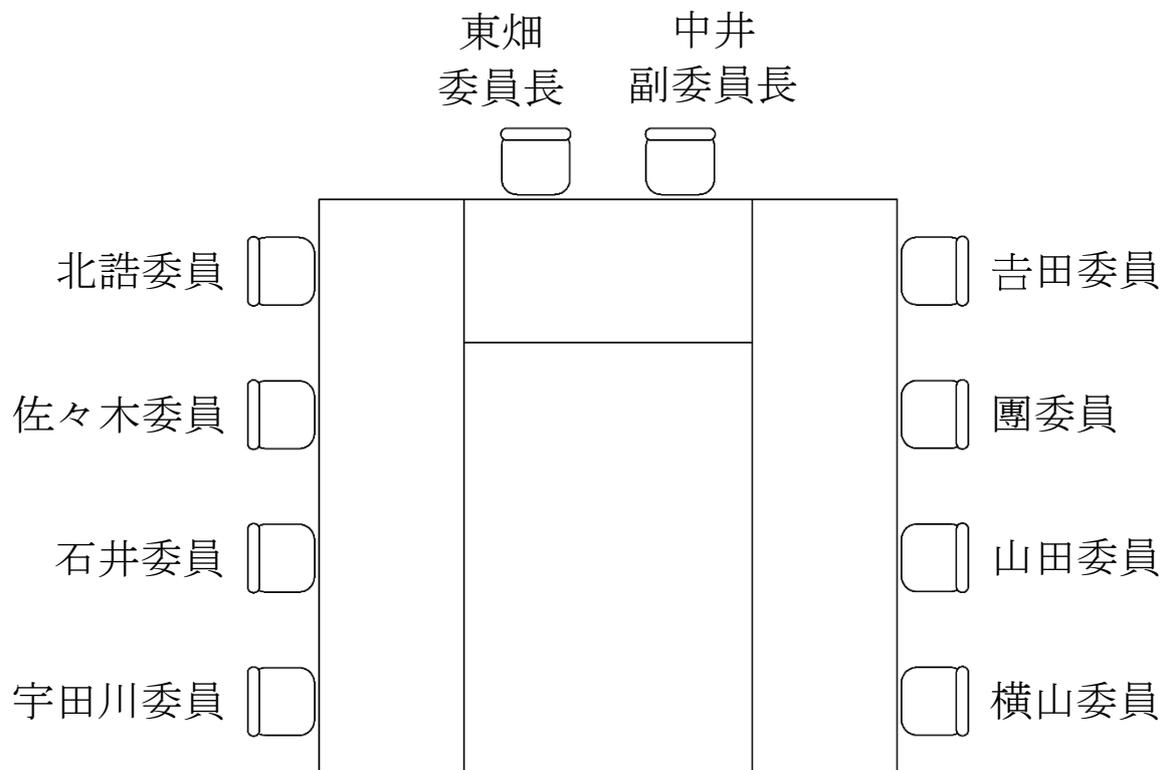
配 付 資 料 一 覧

- 資料 1：第 1 回委員会の指摘事項の対応
- 資料 2：格子状地盤改良中間報告（設計編）
- 資料 3：格子状地盤改良中間報告（施工編）

浦安市市街地液状化対策検討委員会 委員名簿

委員名簿

区分	氏名 ・ 所属等		備考
学識経験者	東 畑 郁 生 (委員長)	東京大学大学院 工学系研究科社会基盤学専攻 教授	土質力学 地盤耐震工学
	中 井 正 一 (副委員長)	千葉大学大学院 工学研究科建築・都市科学専攻 教授	建築基礎構造 地震工学、都市防災
	北 詰 昌 樹	東京工業大学 大学院理工学研究科土木工学専攻 教授	地盤工学・軟弱地盤対策 地盤改良
	佐々木 哲 也	独立行政法人 土木研究所 地質・地盤研究 G 土質・振動チーム 上席研究員	土質工学・振動工学
	吉 田 望	東北学院大学 工学部 環境建設工学科 教授	地盤工学 耐震工学
地権者代表	團 彦太郎	浦安市舞浜三丁目	地権者代表
	山 田 幸一郎	浦安市美浜三丁目	地権者代表
	横 山 和 夫	浦安市弁天一丁目	地権者代表
行政職員	石 井 一 郎	浦安市副市長	行政代表
	宇田川 義 治	浦安市都市整備部 復旧・復興担当部長	行政代表



委員座席配置図

傍聴要領

浦安市市街地液状化対策検討委員会
委員長

1 傍聴をする場合の手続

- (1) 会議の傍聴を希望される方は、会議の開催予定時刻の5分前までに、会場受付で氏名および住所を記入し、事務局の指示に従い会場に入場してください。
- (2) 受付は、会議の開催予定時刻30分前から開始します。また、受付は先着順に行い、定員に達した時点で締め切ります。

2 会議の秩序の維持

- (1) 傍聴者は、会議を傍聴するに当たっては、委員長の指示に従ってください。
- (2) 傍聴者が、会議を傍聴する場合に守っていただく事項に違反したときは、注意し、なおこれに従わないときは、退場していただく場合があります。

3 会議を傍聴する場合に守っていただく事項

- (1) 会議開催中は、着席の上、静粛に傍聴し、拍手その他の方法により、言論に対して公然と可否を表明しないこと。
- (2) 騒ぎ立てる等、議事を妨害しないこと。
- (3) 会場において、飲食又は喫煙を行わないこと。
- (4) 会場において、写真撮影、録画、録音等を行わないこと。ただし、事前に委員長の許可を得た場合は、この限りでない。
- (5) 会議開催中は、立ち歩いたり、繰り返し入退室をしないこと。
- (6) その他会場の秩序を乱し、会議の支障となる行為をしないこと。

浦安市市街地液状化対策検討委員会（第1回）議事要旨

1. 日 時 平成27年2月12日（木） 14:00～16:30
2. 場 所 浦安ブライトンホテル東京ベイ 1階 フィースト
3. 出席委員 委 員 東 畑 郁 生 中 井 正 一
北 誥 昌 樹 佐々木 哲 也
吉 田 望 團 彦太郎
山 田 幸一郎 横 山 和 夫
石 井 一 郎 宇田川 義 治
(敬称略)

4. 委員以外の出席者

浦安市

(事務局)

浦安市 市街地開発課 液状化対策推進室

醍醐室長、平舘主査、本多主事

パシフィックコンサルタンツ株式会社

新井、佐藤、本橋

5. 議 題

- (1) 委員会スケジュールと全体調査設計概要について
- (2) 地質調査および液状化の予測・判定結果について
- (3) 格子状地中壁工法の設計方針・設計計画について

6. 配付資料

委員名簿と座席配置、傍聴要領

資料1 委員会スケジュールと全体調査設計概要について

資料2 地質調査および液状化の予測・判定結果について

資料3 格子状地中壁工法の設計方針・設計計画について

7. 議事概要

○開 会および挨拶（事務局）

- ・取材に関する注意事項の確認が事務局より行われた。
- ・開会にあたって、松崎秀樹浦安市長より挨拶があった。
- ・配布資料の確認、会議の公開に関する告知および傍聴要領の確認が事務局より行われた。
- ・発言内容などの会議の状況は議事要旨により情報公開コーナー及び市ホームページ等にて公開されること確認がなされた。
- ・事務局より委員長および委員紹介を委員名簿と委員座席配置図により行った。

○議事（1）委員会スケジュールと全体調査設計概要について

- ・事務局であるパシフィックコンサルタンツ株式会社から、資料1に基づき、委員会スケジュールと全体調査設計概要に関する説明が行われた。

○議事（2）地質調査および液状化の予測・判定結果について

- ・市街地液状化対策事業に係る地質調査業務の受託業者である、応用地質株式会社から、資料2に基づき、地質調査および液状化の予測・判定結果についての説明が行われた。

(主な質疑等)

以下の内容について確認された。

- ・3.11の地震動での液状化被害は、Fs層とAs1層が支配的な要因だったこと、また、Bs層、Fc層、As2層、Asc層の扱いや、舞浜3丁目の被害状況と地盤性状との関係が課題である。
- ・Bs層の扱いについては、液状化の可能性と被害状況、降雨による水位上昇、Vpから推察される不飽和状態などを考慮して評価する必要がある。
- ・Fc層を粘性土として判定対象外とするだけでは不十分である。
- ・As1層、Fs層に対する改良を行う場合、Bs層、Fc層も改良される箇所があり、設計においては、個別の判断が必要になる。
- ・改良下端の設定については、設計において、費用対効果での評価が必要である。
- ・埋立地での地下水位は、年間の変動がかなり大きいと考えられ、幅を持たせた検討が必要である。
- ・舞浜3丁目に関しては、旧河道とそれ以外の場所の地盤構造の差が非常に大きく、壁の設置位置と密接に関係しコストへの影響が大きいことから、地盤の特性をもう少し詳しく把握する必要があり、その整理の中で、追加調査が必要になる可能性がある。
- ・建築基礎構造設計指針と室内試験結果との比較は細粒分含有率35%以上の補正や拘束圧の補正の考え方などを整理して評価する必要がある。

○議事（3）格子状地中壁工法の設計方針・設計計画について

- ・浦安市市街地液状化対策事業計画案策定調査業務の受託業者である、市街地液状化対策事業特定設計施工業同企業体から、資料3に基づき、格子状地中壁工法の設計方針・設計計画についての説明が行われた。

(主な質疑等)

以下の内容について確認された。

- ・浮き型タイプの改良実験による効果の確認、宅地内の調査を基にした機械攪拌の可能性評価、工事時間の調整に関する検討、排泥処理方法の検討により、コスト縮減の可能性についての評価が必要である。
- ・2次元地震応答解析（有効応力法）の初期応力状態（静止土圧係数K0など）の設定は慎重に行う必要がある。
- ・FL=1.0と液状化状態の関係、液状化と被害との関係は区別して説明する必要がある。
- ・入力地震動は、使用する解析方法と中町地区における観測記録等との関係性を評価して設定する必要がある。
- ・改良上端深度は、地下水位、埋設管との関係、壁構築後の地下水位上昇の有無などに配慮して設定する必要がある。
- ・個別対策により新築建屋の対策が可能であるが、格子状地中壁工法での対策で、その他のインフラも含めて被害が軽減でき、地域全体として一定の効果が期待される点が特徴である。

○その他

- ・次回（第2回）委員会は3月27日に開催する予定であり会場および開催時間等調整後、事務局より関係者に連絡することとした。

以上

委員会スケジュール

開催月	委 員 会	内 容
3 月	<p>第 2 回液状化対策検討委員会</p> <p>日時：平成 27 年 3 月 27 日 13：30～</p> <p>場所：浦安ブライトンホテル 東京ベイ 1 階フィースト</p>	<p>1) 第 1 回委員会の指摘事項の対応について</p> <p>2) 格子状地盤改良中間報告（設計）について</p> <p>3) 格子状地盤改良中間報告（施工）について</p>
5 月	<p>第 3 回液状化対策検討委員会</p> <p>日時：平成 27 年 5 月 26 日 15：00～</p> <p>場所：ショッピングプラザ 4 階 浦安市民プラザ wave101</p>	<p>1) 第 2 回委員会の指摘事項と対応について</p> <p>2) 先行 5 地区の液状化対策事業計画（案）について</p>
7 月	<p>第 4 回液状化対策検討委員会</p> <p>日時：平成 27 年 7 月 31 日 14：00～</p> <p>場所：ショッピングプラザ 4 階 浦安市民プラザ wave101</p>	<p>1) 第 3 回委員会の指摘事項と対応について</p> <p>2) 残 15 地区の特徴、液状化判定結果および格子状地盤改良工法の設計結果について</p> <p>3) 残 15 地区の液状化対策事業計画（案）について</p> <p>4) 委員会報告書（案）について</p>